



## 「一緒に考えてみませんか、ネットのこと」

「ネットのことはよくわからないので、子どもに任せています。」

ネットトラブルに関わる保護者の声で多いのが、この言葉だそうです。スマホを持っていないでも、最近のゲーム機はスマホのようにインターネットにつながる立派な通信機器です。いつのまにか子どもの方が親よりもネットに詳しくなっているケースも珍しくありません。しかしながら、スマホ等を使いこなせている子どもが、ネットトラブルを回避できる術まで身に付けているかと思ったら、決してそんなことはありません。

また、「うちの子にかぎって」と言う保護者も見受けられますが、その過信はどこから来ているのでしょうか。それは単に親の思い込みに過ぎなかったり、願望の気持ちが強かったりしているのかもしれない。

ネットトラブルへの対策を講じないで、子どもを放置していると、どんなトラブルが起こりうるのでしょうか。例えばネットに一度アップされた画像や動画は、半永久的にネットに残ります。たとえ削除しても、誰かが削除前にコピーして拡散すれば、それを止めることはできません。なにげなくネットに掲載した友達との画像が、友達の権利を侵害している行為につながるとは、夢にも思わないかもしれませんが、友達のなかには、自分の顔がネットに流出することを嫌がる人もいるかもしれません。「肖像権」といって、芸能人であろうが一般人であろうが、「自分の姿を無断で撮影されない」という権利を持っています。こういったことは、知らなかったでは済まされません。

しかし、やみくもにネットトラブルを恐れるのではなく、まずは知ることから対策は始まります。今の世の中でネットと無縁でいられる生き方は、あまり現実的ではありません。友達のゲームやスマホなど、親の目の届かないところでネットに接する可能性はいくらもありますし、学校教育の中でネット機器の導入も加速しているのが現状です。

現在、ネット関係のことで困っていること、悩んでいることは何なのか。「スマホやゲームをやり過ぎて、寝不足になっている」ということであれば、「一定時間、スマホやゲーム機を子どもの体から離す」といった「ノーネットタイム」などの物理的なルールが必要です。例えば、

『夜10時以降は家族全員、居間にスマホやゲーム機を置く』といった具体的なルールです。そして、ルールを作ったら家族全員で必ず守る。これが鉄則で、ひいては大人自身の依存を防ぐことにもつながります。また、家庭で決めたルールを、周りの友だちにも知ってもらうことが必要です。LINEの「既読スルー」という言葉に象徴されるように、日本人はつねに相手の反応を気にしがちです。たいした内容でなくても、返信がないと、あとあとまで気をもんだり、交友関係にまでひびが入ることもあるようです。ルールを決める際には、子どもとしっかりと話し合って、「ただ禁止する」押しつけではなく、何が危険で、どのように気を付けなくてはならないか、子ども自身がリスクを想像し、納得できる話が必要となります。

すでにお知らせしているとおり、11月4日(水) 15:30~16:30に、本校体育館において、小・中学校PTA合同研修会「インターネットセキュリティ講演会」が開催されます。当日の参加も可能ですので、この機会に保護者として知っておくべきこと、子どもへの効果的な対応の仕方などを一緒に考えていければと考えております。



## 「スマホ18の約束」

「ネットいじめ」や「SNSトラブル」、「ゲーム依存」等によって引き起こされる様々な事件、事故が報道されるたびに胸が痛みます。使えば便利でも危険が伴うものには、適切なルールと正しい判断が必要となります。9月に実施した「令和2年度携帯電話等、インターネット利用実態調査」における本校の状況の中から、注目したいいくつかの項目についてお知らせします。

| 質問項目                              | 学校平均  |
|-----------------------------------|-------|
| ○自分専用の携帯電話、スマートフォン、通信機能付き端末を持っている | 88.6% |
| (内訳)※複数回答可                        |       |
| ・スマートフォン                          | 36.8% |
| ・携帯電話                             | 1.1%  |
| ・通信機能付き端末                         | 75.7% |
| ○LINE等のコミュニケーションアプリを利用している        | 68.7% |
| ○インターネット等の使い方について、ルールを決めている       | 72.7% |
| ○携帯電話等の使い方について、ルールを決めている          | 65.2% |

生徒が回答した中で一番多かった通信機能付き端末とは、タブレットやゲーム機等のことで、ほぼスマホと同様の機能を備えています。たかがゲーム機と捉えるのではなく、そこには大きな危険が潜んでいることを認識すべきです。スマホやネットを取り巻く状況は目まぐるしく変化しています。学校と保護者そして地域で連携を図り、安全で安心できる環境の中で次代を担う大潟っ子を育てていきたいものです。

数年前になりますが、アメリカのお母さんが、13歳の息子にスマホをプレゼントする際に一緒に渡したスマホの家族ルール、「スマホ18の約束」を紹介します。アメリカと日本では文化や環境、価値観等も違いますが、ぜひ家庭でルール作りをするときに、話し合う際の参考材料にしてほしいと思います。(原文は英文ですが、一番シンプルに翻訳されたものを載せています)

### 『スマホ18の約束』

- 約束1 このスマホの持ち主は、あくまでもお母さんよ。
- 約束2 パスワードを決めたら、お母さんに知らせること。
- 約束3 お母さんやお父さんから着信があったら出なさい。必ずよ。
- 約束4 夜の間、スマホはママに預けて。電話は、相手の家に堂々と顔を出せる相手にだけよ。
- 約束5 学校には持っていかないこと。直接話した方が、あなたの力になるわ。
- 約束6 壊したら自己負担。一度はありうることだから貯金をしておいて。
- 約束7 うそや人を傷つけるための道具じゃないわ。人が人を傷つけるのを傍観したりそれに参加したりもダメ。
- 約束8 書き込む前に、その言葉を直接相手に言えるか考えなさい。
- 約束9 友達に、その家族が聞いたら傷つくようなことを言ってはダメ。
- 約束10 大人向けの画像は禁止よ。私に見られても恥ずかしくないものだけにしなさい。
- 約束11 レストラン、映画館、そして人と話しているときはスイッチオフかマナーモードにしなさい。
- 約束12 あなたや知り合いの裸の写真はやり取りしてはダメ。一生つきまとわれ巨大なインターネットから、跡形もなく奪い取ることは絶対に不可能よ。
- 約束13 写真や動画もいいけれど、保存はそこそこにね。肌身で感じて記憶したものは、一生ものよ。
- 約束14 ときどきスマホなしで外出なさい。スマホは、不可欠なものではないの。流行に流されないのも大人の生き方よ。
- 約束15 チャートにない、新旧の音楽をダウンロードしてごらんなさい。こんなに音楽に手が届く時代は初めてよ。
- 約束16 はやりのゲームばかりでなく、言葉遊びやパズルなど、頭を使うゲームもときどきね。
- 約束17 検索の世界だけでなく、鳥がさえずる現実の世界もご覧なさい。歩いて見知らぬ人との会話も、楽しみなさい。
- 約束18 スマホの扱いに失敗したら一度お母さんに返して、じっくり話し合いよ。お互いに成長してゆきましょう。

